

生駒市ごみ減量市民会議(H30年度第5回) 会議録(要旨)

※前回から議事録内容を簡略化しています。

1. 開催日時 平成31年2月20日(水) 午後3時30分～午後5時30分
2. 場 所 市役所4階401・402会議室
3. 会議次第

報告事項

- (1)エコクッキング教室の実施結果について
- (2)平成30年度活動実績について

協議事項

- (1)平成31年度の活動計画案について
- (2)平成31年7月以降の活動について
- (3)広報いこまちへの掲載について
- (4)エコクッキング教室

開催日時 平成31年3月28日(木) 午前10時00分～12時00分

場 所 北コミュニティセンターISTA はばたき 2階 調理室

対 象 学童生徒(真弓小学校)

その他

4. 出席者(敬称略)

【参加者】坂本 剛伸、藤堂 宏子、藤尾 庸子、永野 洋子、山田 龍三、清水 綾、  
奥田 高弘、小山 忠昭、下山 一則、山口 昭夫、藤中 章夫、寺井 孝幸

【事務局】竹本(環境保全課長)、木戸(環境保全課課長補佐)、  
大窪(環境モデル都市推進課課長補佐)、西井(環境保全課事業係長)  
久保(環境保全課事業係)

5. 欠席者(敬称略) 藤澤 清二、田中 勝久、山村 浩之
6. 傍聴者 0名
7. 会議内容(要旨)

案件

報告事項(1)

- エコクッキング教室の実施結果について

事務局 <資料1 エコクッキング教室実施結果説明>

座 長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

《参加者からの質問等なし》

報告事項(2)

- 平成30年度活動実績について

事務局 <資料2-1 ごみ減量市民会議活動実績報告(平成30年度)>

資料 2-2 平成 30 年度ごみ減量市民会議活動実績 資料 2-3 生駒市ごみ減量  
市民会議目標達成状況説明＞

座 長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

《参加者からの質問等なし》

座 長 平成 30 年度は懇談会が多く実施されており、一方通行形式から対話形式の機会が増えてきている。また、キエーロの認知度は高まっているが、フードドライブに関してはまだまだ認知度が低い。週 1 回のたけまるホールでのフードドライブを継続していくことにより食品ロスへの啓発につながると考えている。資料 2-3 生駒市ごみ減量市民会議目標達成状況 からお分かりのとおりごみの排出量は、ごみ減量の施策実施（ごみ袋透明化、プラ回収など）により減量する。今後は生ごみ減量に対しての施策が必要になる。一部地域でのごみを減らすトライアルでは 3.7%しか減らなかった。ごみ有料化によりごみの排出量は減量したが、生駒市はリバウンドすると言われていた。しかし、現状ではリバウンドが抑えられている。キエーロ等ごみ減量に係る啓発活動は大切である。

協議事項(1)

●平成 31 年度の活動計画案について

事務局 <資料 3 平成 31 年度ごみ減量市民会議活動計画説明＞

座 長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

座 長 資料 4 の 3 平成 31 年 4 月から 7 月までの事業計画 のとおり、メンバーの皆様からいただいた意見を基に計画していきたい。

キエーロの虫や臭いに関するフォローアップは必要である。

事務局 先日、虫や臭いの対処に関するチラシをアンケートに回答していただいたモニター宛てに送付している。

参加者 キエーロによる生ごみ処理は、重要な取組みであり、紙による啓発運動より各自治会に設置するなど、実際に利用してもらうのも良いのではないかと。

参加者 キエーロモニターの中で大きいキエーロに変えたい人はいるのか。大きいキエーロの存在を知らないのではないかと。

事務局 学校のクラスで班単位でキエーロを体験してもらう、またベランダでキエーロなど大きいキエーロの PR はアンケート送付時など併せて行っていきたい。

参加者 自治会懇談会の実施については、自治会長が交代する時期なので新自治会長になってから案内を実施すべきである。

座 長 活動報告書の作成の進め方及び内容については次回の 4 月 12 日の会議で話っ  
ていき、作業に入っていく。

平成31年度ごみ減量市民会議活動計画について賛成の方は挙手をお願いします。

《参加者の賛成多数》

## 協議事項(2)

### ●平成31年7月以降の活動について

事務局 <資料4 ごみ減量市民会議の活動についての意見説明>

座長 何か事務局の説明にご意見ご質問等ございませんか。

座長 資料4 の4 平成31年度7月以降の活動について のとおり、メンバーの皆様から頂いた意見については提言として報告書に加味する。

本日の意見を基に、4月にもう一度議論の必要がある。

参加者 会議の目標である燃えるごみの25%削減をどう捉えるか。市民への啓発だけと考えるならこのままで良いが、25%に近づけるならば工夫や何らかの施策が必要。キエーロの普及だけでは成果につながっていかない。製品プラスチックの回収など生駒市モデルの新しい施策を行政が行う必要がある。

参加者 リサイクルされるもの以外のごみに「炭酸ガスを発生させて燃やす」ことに疑問を感じている。例えば（費用や手間をかけず）生ごみを山中などに大きな穴を掘って埋めるなど燃やさずに処理できる技術などについて調べる必要がある。

参加者 生駒市は環境モデル都市の看板に負けない体制を立ち上げる必要がある。活動している団体をくみ上げて連絡協議会を立ち上げ、それぞれの活動を中央でまとめていく。

また、ごみ削減率、資源率など各数値の報告が市町村によって違っている。

参加者 次世代のためにどのような環境を作っていくか。生ごみ用のごみ袋を作り、生ごみを処理して肥料として配るなど。

事務局 生ごみについては現在もエコパークで給食の残飯や事業系の残飯を堆肥にして市民に配布している。

ごみ半減プランは10年間の計画で平成32年度まで。次の一般廃棄物処理基本計画は平成32年度中に新たに設定する。事業者の意見を聞きながら、生ごみや高齢者に対する課題を検討していきたい。

参加者 生ごみがターゲットであることは間違いない。しかし、集積所が汚れる、分別が手間であるわりに容積はあまり減らないなど生ごみを減らしたところで市民のメリットがないので市民の賛同も得難い。問題解決のためには費用がかかる。

参加者 人口が減っていることによりごみ排出量も減っていることもある。

広報などで環境に対する市民の意識を高めること、キエーロのPR継続も必要である。

参加者 市民意識としては、ごみ袋を買うこと自体負担のうえ、さらに分別という負担がかかることは理解を得難い。市民には無理なくできるようにしてもらいたい。

### 協議事項(3)

#### ●広報いこまちへの掲載について

広報分科会 前回の会議で広報いこまちへは隔月の掲載ということで承認してもらったが、広報広聴課と打合せしたところ、ごみの問題提起についての回答までを掲載した内容が望ましいと言われた。隔月掲載より回数は減るが、最低1ページくらいのスペースは取ってもらえる。

まずは、5月15日合併号を第1回目とし、年度替わりの時期のためごみの分別をテーマにした内容が効果的であると考えている。生駒市ごみ減量市民会議の活動と併せて自治会懇談会における分別の質問及び回答を写真やイラストを交えて掲載する予定。

広報の発行が、月に1回へ変更になっても定期的な掲載について、広報広聴課から了承を得ている。今後の年間掲載内容については7月中に準備する予定。

### 協議事項(4)

#### ●エコクッキング教室

事務局 平成31年3月28日(木) 午前10時 北コミュニティセンターISTAはばたき 2階調理室 真弓小学校生徒が対象  
参加していただける方は、後日事務局まで連絡して下さい。

### その他

#### ●萩原町自治懇談会について

事務局 平成31年2月24日(日) 萩原町自治会館 午前10時開始

#### ●次回の会議開催について

事務局 平成31年4月12日(金) 午後1時30分から開始

以上です。

本日の会議はこれで終了します。

ありがとうございました。